

家族旅行

帯広市医師会
新緑通りはやし内科

林 学

18年間勤めた市内基幹病院を退職し、市内のクリニックを継承して早3年目になる。大学医局の先輩からお話があり、勤務医生活に疲れが見え始めていたアラフィフにとってはありがたい話であった。

もともと臨床が好きで、患者さんをしっかり診療できる内科医を目指して大学医局や出張病院で仕事をしてきたわけだが、年を取るにつれ臨床現場から徐々に離れ、院内の各種委員会や会議に時間を取られるようになるのは、避けて通れないことである。引き継いだクリニックは内科、循環器内科を標榜しているが、透析施設も併設しており、それなりに忙しいところであった。幸い、その先輩の先生は、継承した後も名誉院長としてクリニックに残ってくれたので、午前中の外来や透析当番など手伝ってもらい大変助かっていた。

「よかったら、今年のゴールデンウィーク、自分が当番やるから休んでもいいよ」

今年の春頃、その先生から大変ありがたいお言葉を頂いた。父の体調が悪く、休みを取ろうか迷っていたが、その後落ち着いたので、5月3日から5日までの3日間、休暇をもらうことにした。久しぶりの3連休である。家でごろごろしてはもったいないので、家族と相談の結果、みんなで旅行に行くことになった。開業前に行って以来、数年ぶりである。さて、今回はどこに行こうか、あまり遠くには行けないので、国内旅行で行ったことがないところに行こうか、いろいろ考えた。

「ユニバーサルスタジオジャパン (USJ) に、今年ハリー・ポッターのテーマパークができたみたいなんだけど、どう？」

下の娘が言い出した。2人の娘がいるが、昔からハリー・ポッターのDVDは擦り切れるほど見ていて、かなりのファンである。時間もなかったので、急いで大阪行きの飛行機、ホテルの手配をした。飛行機は帯広から羽田経由で伊丹空港に入る席が奇跡的に4席残っていた。また、ホテルはかなり値が張るところしか残っていなかったが、以前積み立てて忘れ去っていたJTBの旅行用預金が残っていたので多少の足しにはなった。かくして5月3日大阪入りとなった。

USJには2日目に行く予定だったので、初日は大阪城や通天閣など、定番の観光地を回ってみた。い

たるところ観光客でいっぱいだったが、大阪の雰囲気を楽しめた。翌日は朝早く起床し、ホテルからのバスに乗ってUSJに向かった。もっとも混雑が予想されていたゴールデンウィークのど真ん中、5月4日であったが、やはりというべきか、多くの家族連れや観光客が来ていて、入場するまで30分近くかかった。実際に入場口を通過してみると、そこは映画をモチーフに作られたスタジオ風の建物がたくさんあった。“ハリウッドの超大作映画をテーマにした興奮の乗り物や人気キャラクターたちのショーなど、子どもから大人まで楽しめる、ワールドクラスのエンターテインメントを集めたテーマパーク”というたい文句で、ジョーズやジュラシックパーク、最近ではミニオンズなどがテーマになっている。

今回のメインであるハリー・ポッターをテーマにした施設は、お城や魔法使いが住むとされる村の建物などで構成されていた。森の中を歩いていくのだが、小道の雰囲気や村の建物、さらにお城などは本物そっくりで、娘たちはとても感激していた。さらに魔法使いになりきりたいと、売店でコスプレ用のマントや杖など購入し、その場で着替えていたが、お互いえらく気に入って、携帯で写真を撮り合っていた。施設内はかなり広く、いたるところに“魔法をかけられるスポット”があって、近くで魔法の杖を振ると、突如辺りに雪が舞ったり、大鍋から水が噴き出したり楽しめるようになっていた。頃合いを見てレストランに入ったが、映画の中では老舗パブ兼宿屋として描かれていた建物であり、自分以外は名物バタービール（ノンアルコールの甘い飲み物、見た目は普通のビール）を飲みながら、自分はもちろんアルコールの入ったビールを注文し、食事を楽しんだ。その後は今世界で最高峰といわれている3Dアトラクションに乗ってきた。3D用の眼鏡をかけて映像を見ながら座席も動くので、実際にその中にいる体感ができるというものなのだが、かなりの加速感があり、完成度が高いため、本当に空を飛んでいる感じがして新鮮な体験であった。3時間待ちのアトラクションであったが、並んだ価値はあったと思う。お土産を買ってホテルに戻ったのは夜10時頃であった。最終日は昼頃までホテルでゆっくりしてから、午後の便で帯広に戻ってきた。

家族旅行も昔はよく行ったが、娘たちも成長し忙しくなってくるため、この先家族4人で旅行に行ける機会はそうないかもしれない。今度は妻と2人で行くことになる（断られなければ）と思うが、とりあえず多くのエネルギーを注入できた、ただただ幸せな、魔法の3日間であった。